

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

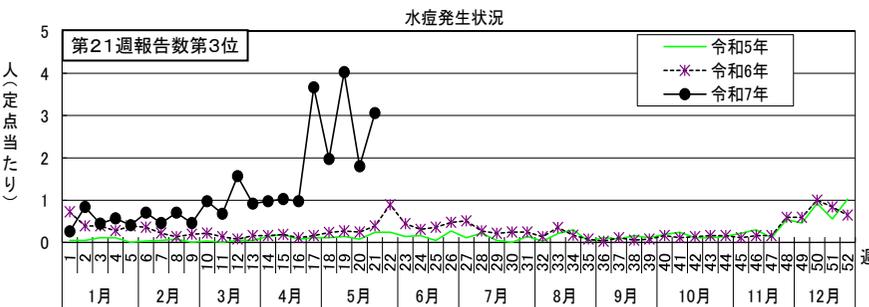
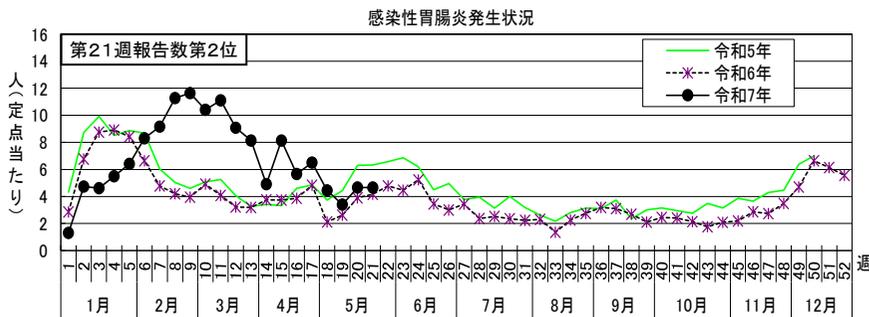
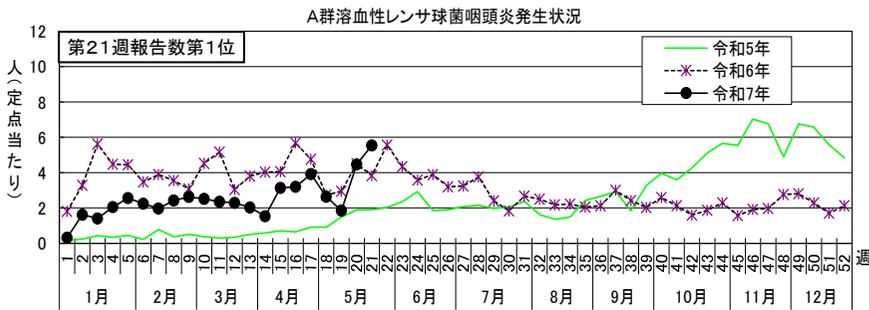
令和7年5月19日（月）～令和7年5月25日（日）〔令和7年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2）感染性胃腸炎 3）水痘でした。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.54人と前週（4.46人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.66人と前週（4.66人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

水痘の定点当たり患者報告数は3.06人と前週（1.80人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



知っていますか？～アデノウイルスによる感染症～

アデノウイルスには多くの血清型があり、型によって呼吸器症状や眼症状、消化器症状等様々な症状を引き起こします。代表的な疾患である咽頭結膜熱や流行性角結膜炎は、例年初夏から夏にかけて流行します。

咽頭結膜熱は小児の報告が中心ですが、流行性角結膜炎は小児から成人まで幅広い年代で発生する感染症で、目やにや結膜充血等の症状を呈します。通常2週間程度で軽快しますが、細菌の混合感染により角膜穿孔を起こし、失明することもあります。眼が腫れて充血がみられる場合は、眼はこすらず、タオルの共用を避ける等の予防対策を行い、早めに医療機関を受診しましょう。

流行性角結膜炎とは？

感染経路：接触感染（感染力が非常に強い）

潜伏期間：8～14日間

主な症状：目やに、結膜充血、流涙、眼痛、まぶたの腫れ

合併症：細菌の混合感染により重症化し、失明することもある。

予防対策



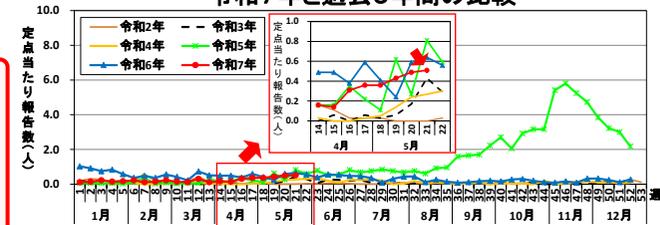
眼に触れた後は流水と石けんで手を洗う。

タオルや枕等の共用は避ける。



おもちゃ等はアルコールや次亜塩素酸等で拭く。

川崎市における咽頭結膜熱発生状況
—令和7年と過去5年間の比較—



川崎市における流行性角結膜炎発生状況
—令和7年と過去5年間の比較—

